夜の旅と昇天（5/6）： 神の御前で

：

明:ムハンマドは主の御前で、一日五回の礼 をしっかり行うことを命じられます。

目: 事イスラ ムの真 性を示す数々の 奇 ムハンマドの 言者性に する

目: 事 言者ムハンマド彼の 言者性の

より: ア イシャ ステイスィ

日16 Jul 2012

集日 16 Jul 2012

天の最上 であるスィドラの木をさらに超えると、それまで人 が立ち入ったことのなかった境界となります。夜の旅と 天をとおしての昇天は、 言者ムハンマドが最上 を超え、神の御前に立つことによってピ クに しました。スィドラの木を超えると、来世、 、そして神の玉座と神その御方が存在する世界なのです。

「奇 的」という言 では、 言者ムハンマドに起きたことを 明するには事足りないものでしょう。それは想像はおろか、いかなる 明をもってしても 感することは出来ないものです。 言者ムハンマドは彼自身の目で神を たわけではありませんでした。神はクルアンの中でこう述べます。

“?????????????????”??????6?103?

教友の一人が、 言者ムハンマドが神を直接 たのかについて ねると、彼はこう答えています。

“?????????????????????????”??????????

しかしながら、神の 言者であるムハンマドが神の御前に立ったという事 に わりはないのです。

礼 の重要性

神は 言者ムハンマドに りかけましたが、私たちにはその　については、神が 言者ムハンマドとその追 者たちに一日五回の礼 を命じたこと以外、何も知らされていません。このことから、私たちは礼 の重要性を直ちに理解することが出来ます。それは天において神が命じた唯一の命令であり、その他すべての命令は、地上において下されたものであるからです。礼 とは、神の唯一性を信じる者たちへの神による り物なのです。神はこの り物をムハンマドに授け、彼はそれをイスラ ムの追 者へと えたのです。それは大いなる祝福と恩 に ちた り物でした。それは神と私たちとの架け を き上げ、 持させるものです。神は私たちの祈りを必要とはしませんが、人 として 力な存在の私たちは神とのつながりを大いに必要としているのです。事 、一日五回の　の礼 はアラビア で「つながり」を意味する 根を持つ「サラ 」なのです。

“??????????????????????????????”???????2?238?

神は 言者ムハンマドとその追 者に一日五十回の礼 を命じました。 言者ムハンマドが天から降りる 、彼が 言者モ ゼの前を通りかかったため、彼は何が せられたのかを ねました。 言者ムハンマドが一日五十回の礼 について告げると、 いたモ ゼは即座にこう言いました。「あなたの主の元に り、 らしてくれるよう みなさい。」神が五十回の礼 を命じたとき、 言者ムハンマドはそれを受け入れましたが、自身も 大なる 言者であったモゼは自らの体 から、いかに人々が宗教的　の履行について反 するかを熟知していたので

す。彼は、 言者ムハンマドの追 者たちがそれ程までに多くの礼 をすることが出来ないであろうことを 信していました。 言者ムハンマドには知 がありましたが、 言者モ ゼにはより多くの がかあったのです。

言者ムハンマドは 兄の助言を き入れ、神の御前に り、 を求めました。神はそれを十回分 らし、四十回とされました。 言者ムハンマドが降りると、 言者モ ゼは何が起きたか ねました。 らされたのが十回だけだったと知った彼は、更なる を求めるよう促しました。

の礼 が五回になるまで、このやりとりが り返された 、 言者モ ゼはこう言ってさらなる を求めるよう促しました。「ムハンマドよ、私は人々のことを知っている。あなたの共同体はそれに耐えることが出来ないだろうから、再び ってあなたの人々の重荷が されるよう求めるのだ。」 言者ムハンマドは答えました。「いいえ。」彼はさらなる を求めることに じらいを感じ、五回の礼 で 足していると言いました。するとどこからか声が き渡りました。「礼 は五回まで されたが、その には五十回分が与えられるだろう。」これら五回の礼 でさえ、一部の人々にとっては困 であったとしても、「つながり」を 立し、やがて主との面会を信じる人々にとっては容易であることを神は明 にされたのです。

“???”???????2?45?46?

慈悲、 情、思いやり

この奇 の夜は、こうした神の慈悲によって りを迎えました。一日に五十回もの礼 をすることの困 さを想像してみてください。 言者ムハンマドの追 者たちの方が 判の日により数が多いことを知って 言者モ ゼが したことを私たちは知りましたが、ここで彼による 言者ムハンマドへの な助言と共に、信仰者によるイスラ ム 践が容易なものとなるよう う彼の姿 もこの旅によって私たちは知ることが出来ます。 言者 のライバル心は 情と思いやりに ちたものであり、ここからも私たちはどうお互いを接するかについて学び

取ることが出来ます。神は善行と公正さにおいて信仰者 で い合うよう告げられますが、私たちはこれを容易に行うことの出来るよう推 し合うべきなのです。

“…??”??????5?48?

その 、 言者ムハンマドはマッカの マスジドへと降りていきました。そして 言者の教友たちは、信仰における最も大きな を受けることになります。神の 言者であるムハンマドは、通常一ヶ月以上を要するエルサレムの最も きマスジドへの旅から一夜にして し たことを公言したのです。また彼は、 天へと昇天し、人 が踏み入れたことのなかった域に入り、神の御前に立ったことも明らかにしました。これはまさしく奇 の旅でしたが、それについて彼の教友たち、また たちはどのような反 を示したのでしょうか?

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/1547

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。